

市長の施政方針に対し 各会派の代表質問が行われました

第1回定例会初日の2月21日に、針谷力市長による平成31年度の市政運営の基本方針並びに施策について述べる施政方針演説が行われました。

3月5日には施政方針に対し、各会派の代表者が代表質問を行いました。



代表質問

質問と答弁の概要をお知らせします。



政研・市民ベースの会
(質問者：生沼 繁 議員)

施政方針について

問 ①先導的プロジェクトに関する市民アンケートの結果について②古河駅東部土地地区画整理事業のこれまでの経緯と今後の進め方③AIの具体的活用と組織マネジメント④住民自治組織の運営に対する行政の援助および、コミュニティ未結成地区への働きかけ⑤古河市子ども夢交付金の運用方法の見直しの予定⑥ICT教育の現状と今後の推

進に向けたプロセス、以上6点について問う。

答(市長) ①先導的プロジェクトを回答者の約9割が認識しておらず、広報での特集記事など周知活動を展開し、ご意見を伺いながら、各プロジェクトを推進していきたい。②事業開始以降、古河赤十字病院移転関連等、9回の事業計画変更を行っており、多くは計画に沿って進んでいるが、総合的文化施設建設については、計画が白紙となった経緯がある。今後は、道路延伸や基盤整備を進め、国、県の補助金等を最大限活用し、効率的な事業運営と工事の早期完了に取り組みたい。③音声認識を活用した電話相談業務などを考えている。職員の能力向上や古河

市情報化推進委員会で外部の有識者の意見を聞くなど、市民目線でのサービス向上を目指す。

④市では運営助成金等財政的支援を行っている。コミュニティ組織の未結成地区については、今後も粘り強く地域住民との話し合いを進めていきたい。⑤交付要綱等の見直しを行い、できるだけ多くの団体が活用できるようにしていきたい。⑥タブレット端末の購入など、教育環境整備に努めている。今後も教育用パソコンの整備促進に努め、プログラミング教育必修化に向けた指導体制を検討していく。

